

令和4年5月2日

## ▼タイトル

## 全国棚田サミットに向けて

## 大学生と教員が協力し、動画で「棚田の今」を伝えます！

人とのつながりが生まれる不思議な農村空間「棚田」をテーマに、そこで流れる時間を映像に切り取ります！

棚田地域では、平野部と比べお米の収量が少なく労力も大きくかかり、どんどんと耕作放棄地が増えています。しかし、棚田は、お米の生産だけではなく、良好な景観や湛水能力により土砂崩れといった災害発生防止の役割など多面的な機能を有しており、そこで暮らす人々にとってはもちろん、琵琶湖の水質保全のためにもとても大切です。

そんな棚田地域に関わってくれる方を増やすため、また中山間地域における農村保全の機運を高めることを目的として開催する第27回全国棚田（千枚田）サミット（令和4年10月1日～2日開催予定）への関心を高めるために、龍谷大学 社会学部の学生と教員が、高島市の棚田地域をちょっと頑張って追いかけます！

制作された動画コンテンツは、これから次々とYouTubeにて公開します！

## 記

取材内容 棚田地域に暮らす方々の生活や取り組み、棚田地域を訪れた方々の活動や思いを取材します。

配信開始日 令和4年5月6日（金）から配信開始

第一弾 「棚田米で新酒造り」

～地元の老舗蔵元が棚田米を使って酒造りを行い、棚田をサポートしています。厳寒の新酒造りに密着です。～

第二弾 「幻の漬け物、畑漬け」

～高島市棚田集落の伝統的な畑漬けは、水と塩だけで漬ける珍しい漬け物ですが、継承する人が減り、幻の漬け物に？今、大学の研究者も注目です！～

第三弾以降は随時お知らせします。少しご期待ください！

HP : <http://www.city.takashima.lg.jp/www/contents/1630565098336/index.html>

（動画コンテンツ公開に合わせて、上記ホームページ上に配信サイトのリンク先を掲載いたします。）

## ▼問い合わせ先

- 所 属：農林水産部農村整備課（第27回全国棚田（千枚田）サミット実行委員会事務局）
- 担当：伊藤 一織
- 電話番号：0740-25-8529
- ファックス：0740-25-8519
- メール：nouson@city.takashima.lg.jp